

活動の感想

- ・年明けて急にインフルエンザが猛威を振るい、あちこちの小中学校で学年閉鎖や学級閉鎖になる中、「せいなん」でも衛生面で気を引き締めて行わせていただきました。
- ・1月はマシェリの掲示板に載せたり、岩手日報新聞の論説に記事が載せられたり、100円ショップのポスター見たりして、初めての参加の方が多く嬉しいことでした。
- ・お餅つきをしたかったところですが、時間や準備のお手伝い人数の関係上、餅つき機でついたお餅を作り、おしることしていただきました。
- ・1月のメニューは肉じゃが、カレー。どちらもこどもたちの評価がよく、おかわりの声もあがるほどでした。
- ・12月のバイキングメニューの準備がかなり大変だったぶん、1月の調理は少し楽に思えたのと、ボランティアとしてお手伝いくださる方々が慣れて手際よく、2回とも途中休憩タイムを設けることができたのは感謝でした。
- ・リピーターが増える中、こどもたちも顔見知りになり、食前食後に向かいの児童公園であそぶのが楽しみのひとつでもあるようです。お子様が当日朝に「きょうはせいなんの日だね！」と楽しみにされているというアンケートを拝見し、大変嬉しく思いました。
- ・「せいなん」のために寄付金をお送りくださる方はじめ、なんらかのかたちで協力したいというお申し出があり、本当に嬉しい限りです。愛される「せいなん」を謙虚に目指していきたいと思われました。

今後の課題

- ・数日前には申し込みが定員いっぱいになり、お申し込みをお断りしなければならないケースも出てきました。今後、リピーターの方のみでなく、いろいろな方にご利用いただけるよう、配慮と工夫（どのようなご家庭の方なのかなど知って）、賢い調整が必要になります。
- ・リピーターの方々が、自分たちだけでなく、もっと広い範囲の方々に利用できるようにしたいとのことで、ちらしを持ち帰ってくださり誘う姿勢を示してくださるので、多数の受け入れ可能な設備や人材など考えていく必要があります。
- ・参加される保護者の方々がこども食堂のことを職場でも宣伝くださり、食材を寄付くださる意志があるなど伝えてくださるので、受けた後の報告やお礼を怠らないようにつとめていきたい。
- ・現在「せいなん」のホームページを作成中です。